



4号館



アリーナ



リトミック室



教室(2階)

4号館

2019年度 聖句

「わたしがあなたがたを選んだ。
あなたがたが出かけて行って、
実を結び、その実が残るようにと」

(ヨハネによる福音書第15章16節)



CONTENTS

学校法人和泉短期大学2020年度事業計画	2
自分を見失わず生きること(佐藤守男 学長)	3
TOPICS(クリスマスイベント 他)	4
2019年度和泉プレカレッジ開催	5



2020年度学校法人和泉短期大学事業計画

理事長 深町 正信



2020年度を迎えるにあたり、先ずこれから迎える時代を大まかに考えてみますと、人口減少が今後、ますます深刻化し、またグローバル化が進むであろうことが予測されます。

更に、技術革新の影響による経済社会の進展とそれを取り巻く環境が急速に変化することが予測されます。このような状況の中で、和泉短期大学はこれからも、なお一層、地元である相模原市民と諸学校から信頼される、開かれた存在となることを強く期待されていると思われれます。そのためにも、和泉短期大学はこれまでにもまして、地元に向けた新しい情報の開示を強く求められていると思われれます。

2019年5月に新聞やテレビ等で報道されたように、「学校教育法等の一部を改正する法律」が国会で成立致しました。更に、私立学校法についても役員の職務やその責任の明確化等に関する規定の整備、情報公開の充実、中期的な計画の作成等が盛り込まれています。学校法人和泉短期大学としては、2019年10月に開催された第二回学校法人和泉短期大学評議員会、理事会に於いて、法人寄附行為等の一部改正について審議をし、改正をしたところであります。このことにより、和泉短期大学が今後益々自律性を担保しながら、「キリスト教信仰に基づく教育と人格形成」を建学の精神とし、和泉短期大学の教育と研究の改革を進めながら、他方では、公共性と社会的責任を負う教育機関としての責任と使命をなお一層鮮明にしつつ、その責任を十分に果たしてまいりたいと強く願います。

次に、具体的には次の6つの項目を挙げます。

第一に、現在、和泉短期大学は学長、事務局長のリーダーシップのもと、教職員が一致協力して、ガバナンスとコンプライアンスの効いた歩みを続けていますが、なお一層の向上に努めていきたいと願います。

第二に、2020年度こそはこれまでの4年間の本学の受験者及び入学者の実績を踏まえて、入学定員の適正化を検討し、児童福祉学科の入学定員を現在の250名から200名に変更する案件の結論を出す必要があると思います。それと同時に、専攻科の入学定員は20名ですが、ここ数年の入学希望者は厳しい現状があります。しかし、歴史的にみれば、日本で最初の老人福祉専門学校として始めた本学としては、出来るならば、専攻科を存続していきたいと思慮するところです。毎年、実施されている介護福祉士国家試験では、本学の学生の合格率は全国レベルでも素晴らしい結果を出しているの

たいと願います。

第三に、新キャンパスの構築、スクールバス駐車場の整備するために新たな土地の購入等は相手もあることです。今後とも慎重に対応すべきだろうと考えます。地元密着型の本学としてはこれまで実施してきた子育て支援のための「はっぴい」や「すまいるい」の子育て広場や様々な地元への支援活動、更に、児童福祉研究室発行の「いっしょに子育て」を通じて、現在、子育てをしている地元の家庭のために地元密着型の和泉短期大学としての奉仕を続けていきたいと願います。

第四に、現在まで、第11回目を迎えている「相模原市内高等学校校長と和泉短期大学との教育研究会」は毎回充実した内容で実施してまいりましたが、これからも、現代の複雑な社会の中で、教育の業に関わる地元の高等学校の先生方と本学の先生方と互いに当面する教育の課題を共有することだろうと思ひますので継続することを願います。

第五に、2019年度を顧みてみますと、地球温暖化と異常気象による大型台風と大雨・強風の影響で大災害が全国各地で引き続いて起こりました。これに対応するため、本学としても必要最低限の校舎の補強工事を最優先して検討すべきであろうと思います。特に、今年度は今まで十分に出来なかつた補修工事は実施したいと願います。

第六に、2020年度は、学校法人和泉短期大学の経営状況は、厳しい現状になろうかと思われれます。「出るを制して、入るを図る」をモットーにして、健全な大学の運営をしていくことが大事でありましょう。出来るだけ無駄を省き、節約の出来ることはしつつ、学校法人和泉短期大学「愛のいずみ基金奨学金」や「教育環境充実資金」への寄付金活動の協力をお願いしていただくことが今こそ、最も必要であろうと思われれます。

自分を見失わず生きること 「人は何によって生きているか」トルストイ民話集より

学長 佐藤 守男



読売新聞から取材があり、昨年の12月8日に「本とわたし」というコーナーで掲載していただきましたので、その内容について紹介したいと思えます。

私は高校3年生の夏休みに体調を崩し、昼と夜が逆転し、眠ることができなくなりました。その後も腹痛や下痢、せきが続き、夏休み以降、学校にほとんど行くことができず、卒業式の日にお茶の水にある順天堂大病院に検査入院しました。病名が「国指定の難病」潰瘍性大腸炎」と判明したのは5月に入ってからのことです。

薬が効き病状は回復しつつあったものの、町工場を経営していた父が8月に急死し、そのショックで症状が悪化し、24時間点滴を付けて、数か月後には寝たきりの状態になりました。そのため内科的治療をあきらめて、東京女子医科大学に転院し、外科の治療に代わりましたが、女子医大では「もう手遅れかもしれない」と母には告げられませんでした。このころ病院の小さな売店で偶然手にしたのが、この本です。トルストイはドストエフスキーと並ぶロシア文学の巨頭で、歴史小説「戦争と平和」が大変有名ですが、この本は短編で読みやすく、私を不思議な世界に誘ってくれました。

このトルストイの短編集は、ロシアに伝わる民話を題材にした四つの短編を集めたもので、中でも「人間には多くの土地が入用か」に特に興味を持ちました。まじめに働いていた主人公の農民「パホーム」が少しでも豊かな生活を送ろうと、少しずつ農地を広げますが、欲を出して広大な農地を取得しようとしたとたん死んでしまうという物語です。

この頃の私は寝たきりでしたが、「元氣でもありません。死んで葬られるとさきに必要な土地は身の丈ほどの広さ」という、人間として最後は平等であり、そして、あきらめを誘う無常観は心地よく、辛い闘病生活にあった私にはどこか安堵感がありました。

「どうせ人間は死ぬのだから、いっそ歩けるようになって、頑張ってみるか」と思うようになり、母に「手術をしたい」とお願いしました。医者は「手術例もないし、難しいからやらない方がいい」と言いましたが、「どうしても」とお願いし、手術をしていただきました。この手術は当時としては極めて珍しい手術でしたが、運よく普通に歩けるまでに回復していききました。

退院後は社会との接点を見つけれないままおらぶらしていたのですが、それを見かねた友人が「学校の先生だったら今からでもなれるかもしれない」という一言で一念発起し、教育大学に入學しました。そこで、「彫刻」に出会い、卒業後は、芸術大学大学院に進み、彫刻家を目指しました。

和泉短期大学学友会が 相模原市緑区台風災害に係る学内募金活動を行いました

台風19号の影響により、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。2019年10月12日に関東地方に上陸した台風19号は、東日本に大きな被害をもたらしました。

和泉短期大学のある相模原市も、緑区津久井地域において豪雨による大規模な土砂崩れが発生し、甚大な被害となりました。

和泉短期大学学友会は被災地の支援の一助となるよう、2019年12月13日(金)および2019年12月16日(月)に、「相模原市緑区台風災害に係る学内募金活動」を実施し、70,289円の募金が集まりました。

2020年2月4日(火)集まりました募金を、学友会会長1年 相良七菜さん、副会長1年 石田優夏帆さんに佐藤守男学長、土橋正文事務局長が付き添い、相模原市緑区災害復興支援に活用していただきますように、本村賢太郎相模原市長に手渡しました。

ご協力いただきました学生、教職員、同窓会のみなさまありがとうございました。



TOPICS

クリスマスイベント

●2019年度クリスマスツリー点火祭を実施しました

救い主イエス・キリストのご降誕を祝うクリスマス待つ4週間が2019年は12月1日(日)から始まりました。

12月2日(月)の夕刻に、クリスマスツリー点火祭を行いました。

和泉クラーク・ホールで学生と教職員、地域の方々にお越しいただき、ベルの音の合図で始まりました。学生チャペル委員が司会を担当し、ハンドベルクワイアの賛美、聖書朗読、祈りが捧げられ、参加者一同で歌う讃美歌がホールに響きます。そして、クリスマスツリーに一齐に灯りがともされました。その瞬間、クリスマス(キリスト+ミサ)ーキリストの誕生を祝い、礼拝する一の感動を皆で共有し、その意味を再確認することができました。

お一人おひとりの心に、神様による平和と希望の光がともされますように お祈りいたします。

●はっぴいクリスマスコンサートを開催しました

2019年12月7日(土)和泉・クラークホールにおいて、子育てひろば「はっぴい」と和泉短期大学宗教部共催の「はっぴいクリスマスコンサート」を開催しました。

当日は、雨の降る寒い日となりましたが、相模原の地域の方々、親子、学生、2020年度入学予定の高校生、教職員と総勢259名が共に一足早いクリスマスを楽しむことができました。

はっぴいボランティア学生による絵本『ちいさなもののやすらぐところ』の朗読、ハンドベル履修学生によるクリスマスの曲の演奏、本学オルガニスト石井三枝子先生によるパイプオルガン演奏、学生聖歌隊によるクリスマスソングなど盛りだくさんのプログラムでした。

コンサートの終わりには、鈴の音が…。「あ、もしかして」。サンタクロースとトナカイが子ども達にプレゼントを持ってやってきました。子どもたちは、思い思いにサンタクロースに質問をしたり、写真撮影をしたり。心温まるひと時となりました。

●2019年度クリスマス礼拝を行いました

2019年12月16日(月)和泉クラーク・ホールにおいて、本学学生および教職員とともに、救い主イエス・キリストのご降誕を祝うクリスマス礼拝が行われました。

日本キリスト教会 鶴見教会の高松牧人牧師をお招きして「博士たちの旅立ち」と題して説教をしていただきました。また、ハンドベルクワイアと学生聖歌隊により賛美が献げられました。

ツリーは、「キリスト教保育」受講生たちによる手作りのオーナメントで飾られました。



2020年「教職員 新年礼拝」、「教職員 新年の集い」を行いました

2020年1月6日(月)和泉クラーク・ホールで「教職員 新年礼拝」を行いました。教職員全員で賛美歌411(すべしらす神よ)を賛美し、深町正信理事長から「祈って働くもの」と題して、神の見えざる御手の下で、教職員一人ひとりに良き教育、良き活動、良き働きをしてほしいとの願いを込めた新年の説教でした。

新年礼拝後、「教職員 新年の集い」がクラーク・ホール1階食堂で行われました。本学教職員、学内の協力会社(シダックスコントラクトフードサービス株式会社、大新東株式会社、株式会社東海ビルメンテナンス)の方々にご参加いただき、歓談の時を持つことができました。



読売ジャイアンツ元コーチ篠塚和典さんによる第14回野球教室が開催されました

2020年1月19日(日)、本学で、読売ジャイアンツ元コーチ篠塚和典さん主催の第14回野球教室が、児童養護施設バット博士記念ホームの子どもたちのために開催されました。

昨年読売ジャイアンツを引退し、独立リーグ栃木ゴールデンブレーブス(2019年BCリーグ後期優勝)監督の寺内幸崇監督、読売ジャイアンツのブルペンキャッチャーのリユウさん、女子プロゴルファーの菅沼菜々さん(ニトリ所属。プロ転向：2018年LPGA90期)たちが参加して下さいました。

学生食堂で一緒にカレーと和泉短大一番人気「ポテから」、カップゼリーを食べた後、4号館アリーナ(体育館)でバスケットボール、バレーボール、バドミントン、総合グラウンドで、軟式野球の紅白戦やサッカー、しっぽ取りゲームを楽しみました。本学卒業生の小林さんは7年連続、同期の藤本さんは2年ぶり、4月から入学する坂本くんに参加いただきました。篠塚さんはいつもバットホームの子どもたちのために夢と希望を与えて下さっています。

読売ジャイアンツ元コーチ篠塚和典さんより本法人に対し、指定寄付金をいただきました

野球教室開催前に、篠塚和典(スマイリングパートナーズ代表)さんと女子プロゴルファー菅沼菜々さんから、本法人の「教育環境充実資金」に対して指定寄付金を戴き、土橋事務局長が受け取りました。この心のこもった貴重な寄付金を本学の教育環境整備充実のために使用させていただきます。



2020年度 入学前教育

佐藤実沙季さん

(神奈川県立相模原総合高等学校)



入学前教育を受講して、私は入学がより楽しみになり、不安な気持ちがなくなりました。

入学前教育を受講する前

は、新しい環境に進むことに不安を感じていました。しかし、受講した四つの授業はどれも生徒同士話し合いながら楽しく取り組めるものでした。二人一組になったり、相談しあったりすることで自然とたくさんの人と仲良くなることができました。そのため、今では入学後に新しい友達と学べるのがとても楽しみです。

入学後も今の新鮮な気持ちを忘れずに、仲間と協力しながら充実した二年間にしていきたいと思っています。

樋口 結衣さん

(光明学園相模原高等学校)



入学前教育を受講して、私は入学後の生活がとても楽しになりました。

受講前は、友達ができるかなど不安や緊張がありました。受講後は、友達が多くなり、コミュニケーションをとる事ができ、安心しました。

特に「リトミック」の授業は、音に合わせてたり、他の人と合わせて体を動かす活動だったので、自然と話ができ、受講前の不安が減りました。

私は、和泉での2年間を充実させ、日々成長していきたいです。そして、将来社会で輝けるように頑張りたいと思います。

2019年度(高校2年生対象) 和泉プレカレッジを開催しました

2020年1月25日(土)将来保育者を目指す高校生を対象とした公開授業「第30回和泉プレカレッジ」を開催しました。15校46名の生徒さんに参加して頂きました。

「赤ちゃんはどうやってかわればよいの?」

30歳児の発達と人間関係
(専任講師 八代 陽子先生)

「保育に生かそう!手話コミュニケーション」

(非常勤講師 南 玲子先生)
(ろう者高齢者介護施設職員)

(本学卒業生 林 真美さん)

授業後は、学生食堂でランチをした後、鈴木敏彦入試広報部長から「修了証」を交付しました。



南先生に教えていただいた手話「愛してる」をの記念写真

学修奨励奨学金、保育士修学資金、介護福祉士修学資金

2019年度前期 学修奨励奨学金受給学生

平松 良美	矢野 優香	渡邊 里菜
中村 彩奈	佐々木日菜	佐藤 彩花
中尾由希子	湯本 萌	坂本 茜
和田 瑠華	島 遥菜	

2019年度 保育士修学資金(決定者)

神奈川県		
大島	沙希	尾張谷夏帆 / 中元 智咲
横浜市		
野呂	世菜	山本 望羽 / 永野 菜生
川崎市		
泉	悠香	稲垣 朱音
東京都		
中尾由希子	小井沼優那	木内 玲那
西野みはる	若林 萌音	山村 萌友

2019年度 介護福祉士修学資金(決定者)

神奈川県	
戸栗	知春 / 中村 瑞穂

人事

退職(2019年12月20日付・任期満了)

沖 安子 学生支援ユニット(非常勤職員)

訃報

故 久保 イチ氏

井狩芳子教授 御義母

(2019年10月13日)

故 石田 周介氏

学校法人和泉短期大学元理事、元評議員
元社会福祉法人日本キリスト教奉仕団常務理事
バット博士記念ホーム第5代園長
(2020年1月19日)

故 岡本 與吉氏

教育・学習支援ユニット(実習担当)職員 池田なつみ 御祖父
(2020年1月27日)

故 松山 喜一氏

矢野由佳子准教授 御義父
(2020年2月9日)

主による平安をお祈りいたします。

2019年度 和泉短期大学「愛のいずみ基金奨学金」(給付型奨学金)のお願い

学校法人和泉短期大学の原点であるララ物資の精神を引き継ぐために本学教職員・法人関係者の方々からの寄付を中心とした本学独自の給付型奨学金基金を2018年度より設立しました。

現在の社会・経済環境が甚だ厳しい状況にあります。本学独自の愛のいずみ奨学金基金の趣旨をご理解のうえ、和泉短期大学の学生の支援充実のため、一人でも多くの方々のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

募金目標金額 3,000,000円
募金募集期間 2019年6月～2020年3月(第2期)
募金金額 1□ 5,000円
払込方法 郵便振替口座
 □座番号 00280-6-105705
 □座名 愛のいずみ基金奨学金

所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人
和泉短期大学 庶務ユニット(経理担当)
 042-754-1133

寄付者一覧(敬称略) <2019年12月1日～2020年2月15日>

金成 泰宏/雑賀えり子/佐藤 建夫/高山 直樹/同窓会いづみ/土橋 正文/平沼 晶子/深町 和哉/
 横川 剛毅 以上9件 330,000円

2019年度「教育環境充実資金募金」のお願い

学校法人和泉短期大学は1956年4月東京都世田谷区中町に「バット博士記念養成所」を開設し、同年5月「現任訓練講習会」を開催したことに始まります。1960年、その現任訓練機関が「玉川保育専門学院」となり、1965年に「和泉短期大学」が設立され、2018年5月に学校法人和泉短期大学は創立63年を迎えました。

学校法人和泉短期大学を卒業された卒業生19,234名の方々の働きや努力と活躍により発展成長したものと深く感謝申し上げる次第であります。

和泉短期大学は、教育の充実を図り、学修環境整備、施設設備の維持整備を目的に2019年度も「教育環境充実資金募金」を行うことになりました。

皆様には出費多難な折とは存じますが、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募金対象事業 震災・災害対策
 (3号館和泉クラーク・ホール照明器具の改修工事)
 和泉クラーク・ホール音響設備
 その他教育環境改善費他

募金目標金額 10,000,000円
募金募集期間 2019年6月1日～2020年3月31日
募金金額 1 個人 1□ 5,000円
 2 法人 1□ 10,000円

所得税・住民税の寄付控除

本法人への募金(寄付金)につきましては、年間2,000円を超える金額に対して、確定申告をすることにより所得税及び住民税の寄付控除を受けることができます。

法人募金の場合

法人からの募金(寄付金)につきましては、日本私立学校振興・共済事業団を通じて、「受配者指定寄付金」として全額損金算入することができます。

詳しくは下記までご連絡ください。

問合せ先 学校法人
和泉短期大学 庶務ユニット(経理担当)
 042-754-1133

寄付者一覧(敬称略) <2019年12月1日～2020年2月15日>

遠藤 陽子/金成 泰宏/佐藤 建夫/篠塚 和典/田邊 大幸/土橋 正文/平沼 晶子 以上7件 145,000円

公共職業訓練 神奈川県委託訓練 「専門人材育成コース」(保育士)設置

和泉短期大学では2019年度から 神奈川の公共職業訓練 委託訓練校に選定され、現在1年生5名が保育士を目指し学んでいます。

受講対象者は、雇用保険受給資格があり、公共職業安定所長の受講指示が得られる方で、国家資格等の取得や専門スキルの習得により、正規就職を希望する方です。

社会人の学び直しには大変有利な制度です。

詳しいことは、本法人ホームページの「入試広報情報」から「神奈川県公共職業訓練専門人材育成コース(保育士)の募集について」をご覧ください。

